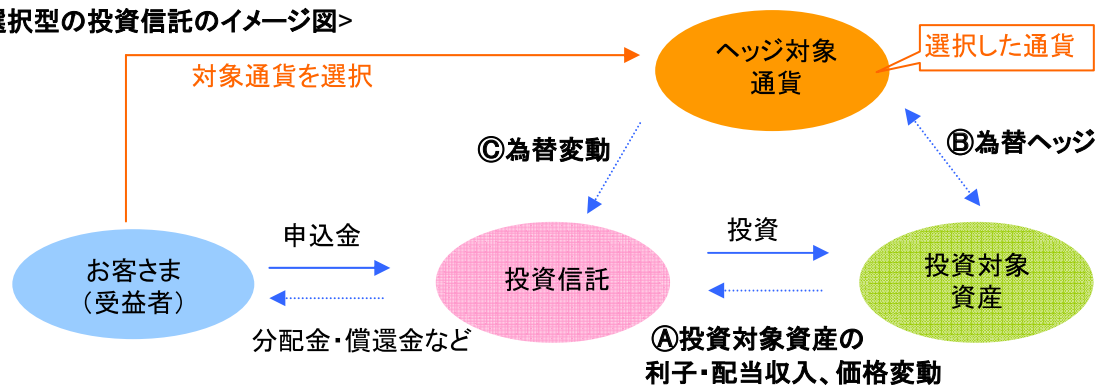


通貨選択型投資信託の収益/損失に関するご説明

●通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替ヘッジの対象となる円以外の通貨も選択することができるように設計された投資信託です。

< 通貨選択型の投資信託のイメージ図 >



●通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素があげられます。

① 投資対象資産による収益(上図①部分)

- ・投資対象資産が値上がりした場合や利子・配当が支払われた場合は、基準価額の上昇要因となります。
- ・逆に、投資対象資産が値下がりした場合には、基準価額の下落要因となります。

② 為替ヘッジプレミアムによる収益(上図②部分)

- ・「選択した通貨」(コース)の短期金利が、投資信託の「投資対象資産の通貨」の短期金利よりも高い場合は、その金利差による「為替ヘッジプレミアム」が期待できます。
 - ・逆に、「選択した通貨」(コース)の短期金利のほうが低い場合には、「為替ヘッジコスト」が生じます。
 - ・なお、「選択した通貨」と「投資対象資産の通貨」が同一通貨の場合、為替ヘッジプレミアムや為替ヘッジコストは発生しません。
- ※「選択した通貨」が新興国通貨の場合などは、金利差がそのまま反映されない場合があります。

③ 為替変動による収益(上図③部分)

- ・上図②部分とは異なり、上図③部分については為替ヘッジを行っていないため、「選択した通貨」(円を除く。以下同じ)の円に対する為替変動の影響を受けることとなります。
- ・「選択した通貨」の対円レートが上昇(円安)した場合は、為替差益を得ることができます。
- ・逆に、「選択した通貨」の対円レートが下落(円高)した場合は、為替差損が発生します。

●これまで説明しました内容についてまとめますと、以下のようになります。

収益の源泉	=	投資対象資産の 利子・配当収入、価格変動	+	為替ヘッジプレミアム/コスト	+	為替差益 / 為替損
収益を得られる ケース		投資対象資産の市況の好転* 投資対象資産の 価格の上昇		ヘッジ対象通貨の短期金利 > 投資対象資産通貨の短期金利 ヘッジプレミアムの発生		円に対してヘッジ対象通貨高 (円安) 為替差益の発生
損失やコストが 発生する ケース		投資対象資産の市況の悪化* 投資対象資産の 価格の下落		ヘッジ対象通貨の短期金利 < 投資対象資産通貨の短期金利 ヘッジコストの発生		円に対してヘッジ対象通貨安 (円高) 為替差損の発生

*投資対象資産の価格の上昇/下落の要因は、資産の種類(債券、株式、リート等)により異なります。

※通貨選択型の投資信託が実質的に投資を行う投資対象資産に関する投資リスクについては、目論見書その他の資料でご確認いただく、または販売会社までお尋ねください。その他、当資料に記載された文言等、ご不明な点がございましたら、販売会社までお尋ねください。

商号等	株式会社北海道銀行 登録金融機関 北海道財務局長(登金)第1号
加入協会	日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会